



2017年8月期

# BUSINESS REPORT

2016.9.1-2017.8.31

証券コード2157



**Koshidaka** HOLDINGS

株式会社 **コシダカ** ホールディングス



# 「カラオケ事業」をはじめすべての事業が好調に推移、 上場以来10期連続の増収増益となりました

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当期は、当社グループにとって、非常に多くの重要な節目を迎えました。



また、当期の連結業績は、すべての事業が収益に貢献し、**大幅な増収増益**を果たすことができました。さらに「カラオケ事業」の拡大に向けた設備投資のために第三者割当増資を実施させていただきました。

今回は、業績面・経営面の両方で大きな原動力となった「カラオケ事業」を中心に、業績成果と今後の戦略をお伝えいたします。



代表取締役社長  
腰高博

## Q.1 「カラオケ事業」は売上・利益ともに大きく躍進していますね

「カラオケ事業」の売上高は前期比7.1%増、セグメント利益は同75.1%増と大幅に伸長しました。

厳しい事業環境下での2桁近い増収率は、高く評価できると考えております。その要因としては、徹底した“攻めの戦略”が結果につながっていると言えます。第一が、既存店における“集客第一”の施策です。高校生向けの「ZEROカラ」施策、シニア向けの「朝うた」施策、コンテンツホルダーとのコラボ企画など、全国統一キャンペーンが当期も高い集客を生み出しました。第二が、継続的な新規出店です。当期は42店舗の新規出店を行い、2017年8月末現在の国内店舗数は499店舗となりました。

また、大幅増益の要因としては、“守りの戦略”が大きな成果創出につながったと評価しております。具体的には、今後、真の業界No.1となるための基礎として、収益基盤の再構築を目指し、店舗マネジメントの見直しを行いました。その結果、市場拡大局面では効果的であった「昨対主義」を改め、成熟市場下において効果を発揮しやすい「予算第一主義」の管理方法へと一大転換を果たしました。これにより、人件費をはじめとしたコストの安易な予算オーバーが抑制され、下期以降、大幅な利益改善を実現しました。

このように当期の「カラオケ事業」の業績は、“攻め”と“守り”の両輪がうまくかみ合った結果、大きく躍進することができました。

## Q.2 各事業における今後の成長戦略をお聞かせください

「カラオケ事業」では、2つの“戦略的シフト”を推し進めております。第一が従来の“居抜き出店”から“建築出店”へのシフト、第二が“ロードサイド型郊外店舗”から“都市型駅前・繁華街店舗”へのシフトです。特に、「1都3県集中出店」に注力し、同エリアにおける店舗体制の拡充を行ってまいります。もちろん地方都市でも随時出店を行い、店舗体制の構築を目指します。また、海外展開においては、収益化を果たしたシンガポールにおいて現状の2倍弱となる20店舗程度を上限に拡大を図り、中期的にはASEAN地域への全面展開を目指してまいります。すでに、ベトナムとインドネシアでは市場調査やアライアンス先の探索などを終え、市場進出に向けた次の段階に入りつつあります。

ます。

「カーブス事業」では、引き続き店舗数の拡大を推し進めます（2017年8月末現在国内1,823店舗）。顧客満足度を下げないためにも、きめ細やかなエリアマーケティングを展開してまいります。また、80万人超となった会員に対する物販ビジネスについても、的確な商品開発によって収益拡大を図ってまいります。

「温浴事業」では、前期に黒字化を果たし、当期は完全に安定成長軌道に乗せることができたと考えております。今後も、追加投資や営業施策を適宜行いながら魅力の維持・向上に努めてまいります。また、チャンスがあれば新規出店を再開したいと考えております。

## Q.3 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします

東証一部上場など、当期は非常に多くの節目を迎えました。次の大きな節目として、「グループ売上高1,000億円」という新たな目標の実現にチャレンジしてまいります。

当社グループは、カラオケ、カーブス、温浴すべての事業を通じて世界のお客様に“健康”をお届けする企業集団です。だ

からこそ、すべての社員が心身ともに健康で、高いモチベーションを持って働くことができる職場環境づくり、いわば“健康経営”の研究と実践に改めて重きを置き注力してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

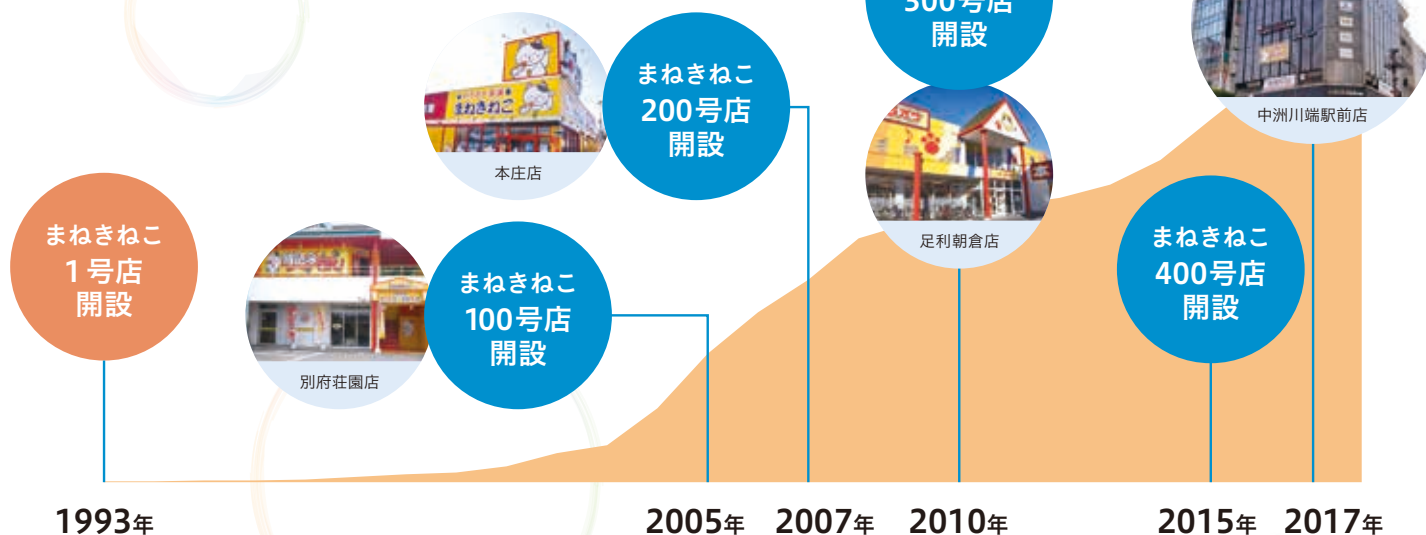
# 私たちコシダカの挑戦

去る7/21に私たちは記念すべき

「カラオケまねきねこ」500号店をオープンしました。

これからも皆様に愛されるため

成長を加速させます



## 当初は地方都市の“郊外”を中心に“居抜き出店”による全国化を推進

当社は、1990年にカラオケボックス1号店、1993年に「カラオケまねきねこ1号店」(前橋小相木店)をオープン、その後全国出店を開始し、地方都市の“ロードサイド型郊外店舗”を中心に“居抜き出店”によって急速に店舗数を拡大してきました。

## 現在、“首都圏駅前・繁華街”を中心とした出店により、出店スピードを加速

当社は新たな成長戦略として首都圏進出の本格化を目的に、2014年7月、本社機能を東京に移転しました。これ以降、当社はカラオケなどの娯楽施設の本丸とも言うべき首都圏において“都市型駅前・繁華街店舗”を中心とした出店へとシフトしました。主要ターゲット・エリアを1都3県(東京・神奈川・千葉・埼玉)と定め、集中的な出店を展開し、2017年8月末現在、同エリアの店舗数は138店舗まで拡大してきました。この戦略シフトが奏功し、近年のカラオケ事業における売上高の拡大、店舗数の増加へとつながっています。

## 併せて、出店形態も“建築出店”へとシフトし、これが出店スピードの加速に貢献

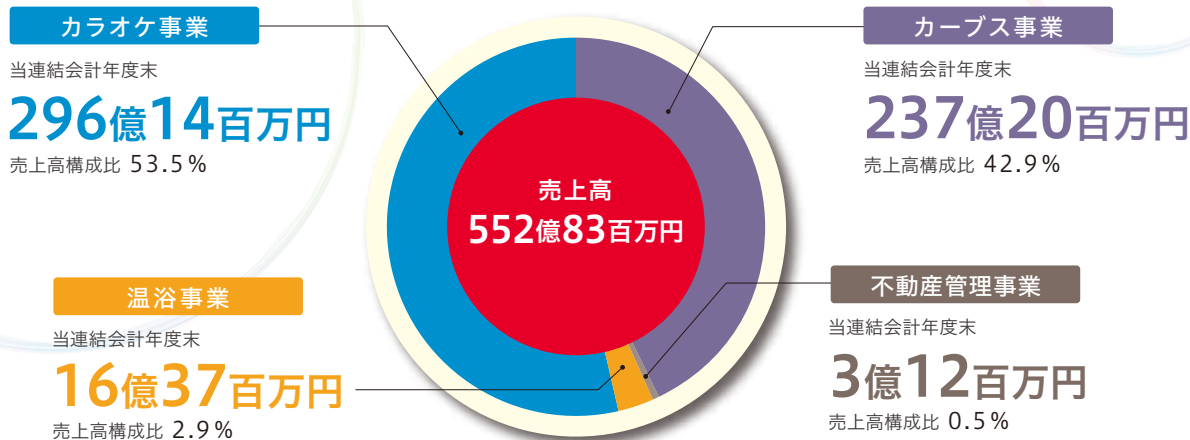
首都圏集中出店の展開により、出店形態の中心は従来の“居抜き出店”から“建築出店”へと変わってきました。“建築出店”は、初期投資がかさむものの、出店候補の選択の幅が非常に広く、計画通りの出店ペースの維持が可能となることに加え、立上げ当初から理想的な店舗づくりが可能である等、多くのメリットも有しています。今後は、“建築出店”を主体に“居抜き出店”も柔軟に織り交ぜながら、高い出店スピードを維持していきます。



# 事業セグメント別状況

(2016年9月1日～2017年8月31日)

事業セグメント別売上高構成



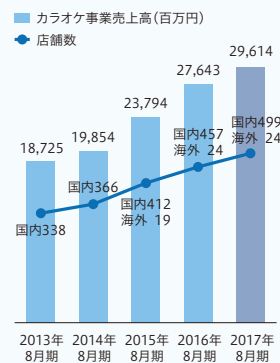
## カラオケ事業



「カラオケまねきねこ」は、「安心・安全」「リーズナブル」「フレンドリー」なカラオケ店として、地域の幅広いお客様に愛され、全国に約500店舗を展開、店舗数日本トップクラスを誇るカラオケチェーンに成長しています。

### 業績の状況

国内では、首都圏を中心とした店舗網の充実に重点的に取り組むとともに、当社独自の企画とサービスを充実させることに注力、特定の顧客層や時間帯に照準を当てた各種施策の展開は、各々狙い通りの集客効果を発揮しました。さらに、営業時間や料金設定、人員配置を個店毎にさめ細かく見直し適正化を図りました。海外では、韓国に新業態のノレタウンを1店舗開設いたしました。その結果、売上高は296億14百万円(前期比7.1%増)、セグメント利益は20億50百万円(同75.1%増)となりました。



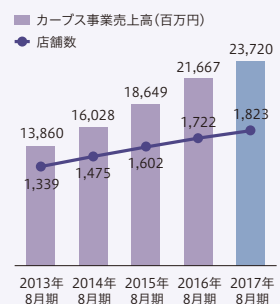
## カーブス事業



「カーブス」は、米国テキサス州で生まれ、グローバルに展開されている世界最大級のフィットネスチェーン。日本におけるカーブスは、2005年のカーブスジャパン設立以来、世界市場の中でも大きな成長を遂げています。

### 業績の状況

運動習慣をより多くの人達に広めていくことによる会員数の継続的拡大と、店舗網の充実をさらに進め、店舗での運動と相乗効果の高いプロテイン等の会員様向け物販も伸び、業容の拡大に貢献しました。その結果、売上高は237億20百万円(前期比9.5%増)、セグメント利益は46億72百万円(同10.3%増)となりました。



## 温泉事業



「まねきの湯」「らんぷの湯」を全国で5店舗運営。温泉はもちろんのこと、食事、リラクゼーション、宴会など様々な楽しみ方が選べる施設として、お子様連れのファミリーをはじめ幅広い年代層のお客様にご利用いただいています。

### 業績の状況

集客施策のブラッシュアップと新コンテンツの導入を図るとともに、設備の省エネ化をさらに推し進めることにより、温泉事業の質量両面に亘る経営改善に努めてまいりました。その結果、売上高は16億37百万円(前期比5.5%増)、セグメント利益は1億22百万円(同58.2%増)となりました。

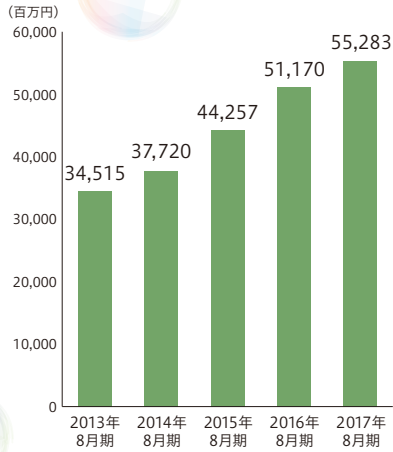
## 不動産管理事業

### 業績の状況

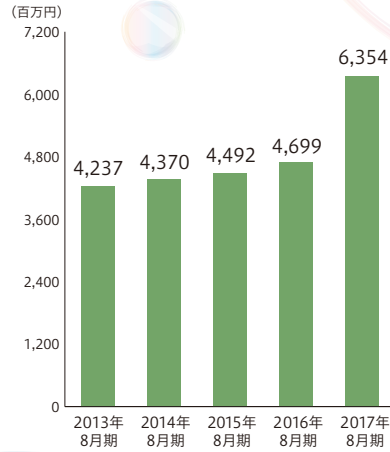
売上高は、3億12百万円(前期比1.7%増)、セグメント利益は1億26百万円(同27.8%増)となりました。

# 数字で見るコシダカ

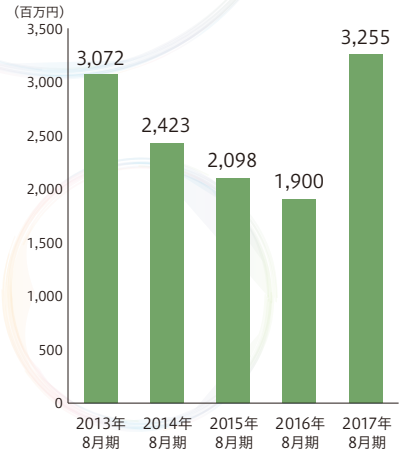
売上高



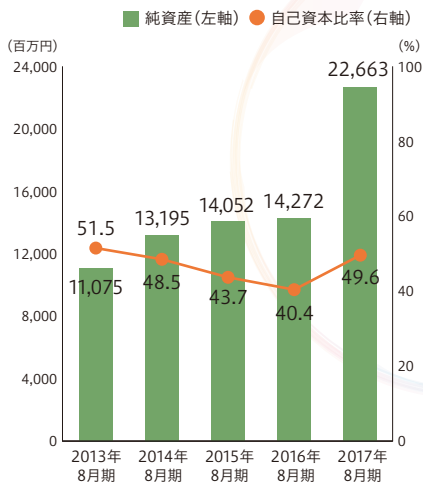
経常利益



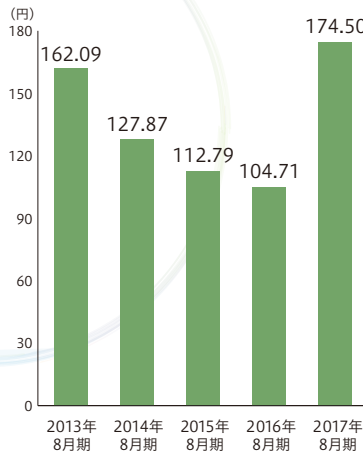
親会社株主に帰属する当期純利益



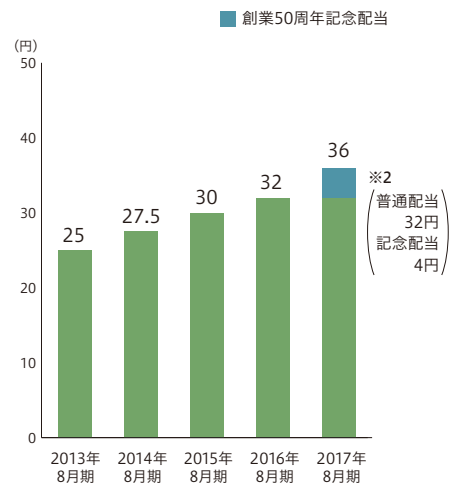
純資産/自己資本比率



1株当たり当期純利益※1



1株当たり配当金※1



※1 2014年9月1日付で1:2の株式分割を行いました。当該株式分割を加味し、分割以前の1株当たり当期純利益額、および1株当たり配当金を算出してあります。

※2 東京証券取引所市場第一部への市場変更を記念し、2017年8月期第2四半期末配当金において1株当たり2円、期末配当金において1株当たり2円の記念配当を実施しました。

## コラム IN DETAIL

### ネクストステージへ 進むコシダカの海外展開

当社グループの海外展開は、2011年の韓国を皮切りにスタートし、2013年には、ASEAN諸国への出店に向けた基盤づくりとしてシンガポールに当社100%子会社を設立しました。そして、2014年にシンガポールの現地企業を買収し、その後、ハード・ソフトの両面において「まねきねこ化」(日本のノウハウを移植)を図りました。これにより収益基盤の強化が進み、現在、シンガポールのカラオケ事業は黒字化を果たしております。

今後はこの成功事例をASEAN諸国へと拡大していくべく、ベトナム、インドネシア、フィリピンなどで進出計画を進めてまいります。



# インフォメーション

## 会社の概要 (2017年8月31日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス  
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.  
 設立年月日 1967年3月31日  
 東京本社 東京都港区浜松町二丁目4-1  
 世界貿易センタービルディング23階  
 前橋本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1  
 資本金 20億7,025万7,500円  
 事業内容 カラオケ事業(店舗数:国内499店舗)  
 カープス事業(加盟店舗数:1,823店舗)  
 温浴事業(店舗数:5店舗)  
 従業員数 グループ従業員3,923名  
 (正社員1,142名、パート・アルバイト2,781名)  
 パート・アルバイトは1日8時間換算人数

## 役員 (2017年8月31日現在)

代表取締役社長 腰高 博 社外取締役(監査等委員) 西 智彦  
 専務取締役 腰高 修 社外取締役(監査等委員) 寺石 雅英  
 常務取締役 朝倉 一博 社外取締役(監査等委員) 森内 茂之  
 常務取締役 腰高 美和子  
 常務取締役 土井 義人

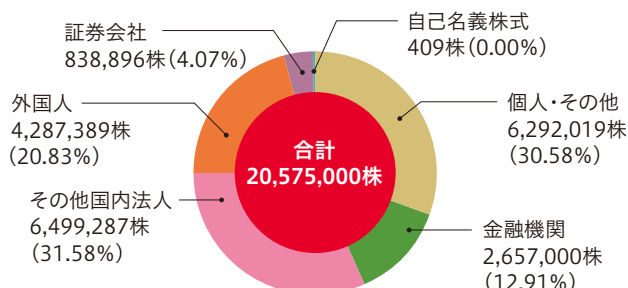
## 大株主 (上位5名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	5,332,000	25.91
腰高 博	2,310,000	11.22
株式会社アイエムオー	866,000	4.20
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	625,800	3.04
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシーリフィデリティファンズ	620,947	3.01

## 株式の状況 (2017年8月31日現在)

発行可能株式総数 76,800,000株 株主数 16,572名  
 発行済株式の総数 20,575,000株

## 所有者別株式分布状況 (2017年8月31日現在)



## 株主メモ (2017年8月31日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで  
 定時株主総会 毎年11月下旬  
 基準日 毎年8月31日  
 定時株主総会・期末配当 毎年8月31日  
 中間配当 毎年2月末日  
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。  
 住所変更のお申し出について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
 「配当金計算書」について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。  
 ※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

## 株主優待のご案内

2017年8月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上の株式を保有されている株主様に、株主優待の実施を予定しております。  
 2016年は当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様全員に一律5,000円相当の株主優待券、加えて所有株式数に応じたカタログギフトをお送りいたしました。

### (2016年実績紹介)

(1)対象となる株主	2017年8月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上を保有いただいている株主様
(2)優待の内容 (2016年実績)	5,000円相当の株主優待券  +  所有株式数に応じた カタログギフト
(3)贈呈時期	12月上旬を予定しております

※2017年の優待内容が決定いたしましたら、Webサイト等でお知らせいたします。



## 株式会社コシダカホールディングス

〒105-6123 東京都港区浜松町二丁目4-1  
 電話 03-6403-5710(代) Fax 03-6403-5727



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。